



# コトノン便り

4

言の葉 2026 年テーマ「コトをカタチへ」

2026  
NO.119



言の葉の存在意義

Purpose

「リハビリテーションの力で、“その人らしさ”と“その街らしさ”を育む」



Instagram



HomePage

# 「やり続けることで、コトをカタチへ」

私事ですが、2人の息子が小学生の頃からラグビーをしていることは、これまでもご紹介させていただいています。

そしてこの春、長男は第27回全国高校選抜ラグビー大会に出場し、次男は大分県中学選抜に出され、県代表として試合に臨みました。

皆さまからも多くの応援をいただき、心より感謝申し上げます。

私は、息子やチームメ



イトの姿から、「やり続けること」がやがてコトをカタチにしていく、その過程の大切さを強く感じています。

全国大会や県代表と聞くと、華やかで充実したラグビー生活を送っているように思われるかもしれませんが、決してそうではありません。試合に出るためには、相応な覚悟を持って日々の練習に取り組んでいます。しかし、試合に出られないこと、出場しても活躍できないこと、試合に負けることなど、自分が望む結果とは異なる現実の方が多いのも事実です。その一つひとつの経験は、すぐに結果としての「カタチ」にはならないかもしれませんが、やり続ける中で確実に積み重なり、やがてコトがカタチへと変わっていくのだと思います。

特にラグビーは、激しく身体をぶつけ合う過酷な競技です。そのため、体格差や個々の能力差が結果に直結する場面も多く、心身と

もに厳しい状況に置かれることも少なくありません。

それでも2人は腐ることなく、仲間とともにやり続けています。

目の前の一つひとつに向き合いながら、小さなコトを積み重ね、それを少しずつカタチにしていく姿は、子どもながらも非常に輝いて見えます。

そんな姿を見ていると、「大人はどうだろうか」と考えさせられます。いつの間にか、挑戦よりも安定を、変化よりも現状維持を優先してしまっていないでしょうか。また、本来カタチにしたコトがあるにも関わらず、「やらない理由」「やれない理由」を探してしまっていないでしょうか。



子どもやチームメイトの姿から、改めて自分自身がどのような姿勢で仕事に向き合い、どんなコトをカタチにしていくのかを問い直す機会をもらっています。

さて、令和8年度が始まります。デイサービスは11年目、訪問看護は6年目、きつずは2年目を迎えます。

言の葉の今年度のテーマは「コトをカタチへ」です。

一人ひとりの想い、日々の実践、小さな積み重ね、そのすべてを大切にしながら、ワンチームでコトをカタチへとつなげていきます。



中村 太一  
代表取締役 言語聴覚士

## 言の葉の誓い Statement

### 1. 「らしさを広げる」

私たちは、「あなたらしさ・私らしさ・私たちらしさ」を大切に、共に広がっていきます。

# コミュニケーションデイサービス 言の葉

## 新しいことにチャレンジ 結果報告

先月号で紹介した地区のウォーキングイベントへ参加したご利用者さんの報告です。無事にウォーキングに参加されました。奥様と言の葉スタッフ2名も一緒に参加しました。

ゴミ拾い行いながらウォーキングし、地域の方との交流もあるなど、ほのぼのとした1日になりました。



## 埼玉からの贈り物 横綱の手

「ばたき」から横綱大の里、元横綱白鵬の手形の色紙をいただきました。さっそく、みんなで手の大きさを比べてみました。横綱の手の大きさにびっくりです！

埼玉県坂戸市の「失語症デイサービス」



## 学会参加報告

2月28日～3月1日に宮崎県で開催された「第14回日本語聴覚士協会九州地区学術集会」に参加しました。言の葉からは中村ST、武生ST（きつず）、鶴岡ST、財津ST（きつず）4名が参加しました。



### 言の葉の誓い Statement

#### 2. 「食と会話でつながる」

私たちは、コミュニケーションと食をテーマに、人と人のつながりを生み出します。

## 訪問看護ステーション 言の葉

### 新入職員の紹介

3月より入職しました、理学療法士の山下文菜です。

これまで総合病院、整形外科クリニック、介護施設など様々な分野で働いてきました。

今回初めての在宅でまだまだ知識不足なところがありますが、日々勉強しながらこれまでの経験を活かして頑張ります。

私は身体を動かすことが好きで、今も社会人のバレーボールを続けています。運動をしていると身体も心も健康でいつでも元気でいられます。

これから皆様と一緒に運動をしながら、運動の楽しみや続けることの意味をお伝えし、元氣と笑顔を届けたいと思います。よろしくお願います。



理学療法士  
山下文菜

今年で理学療法士  
になって  
11年目、  
初めて訪  
問リハビ

### 挑

りに挑戦します。利用者様のできる事を増やしてやりたい事が叶えられるように、またいつまでも元気に在宅で過ごせるように、利用者様に寄り添いながら最善を尽くしていきます。

言の葉初の理学療法士という面でも基盤作りに挑むことと考えています。

周りのお力も借りながら、とにかく果敢に挑戦していきます。



令和3年4月に3名体制でスタートした訪問看護ですが、看護師4名、言語聴覚士2名、理学療法士1名の7名体制まで成長しました。今後は、看護師6名、リハビリスタッフ4名のチームづくりを目指しています。

皆さまが、自宅や地域で生き活きと楽しく暮らしていく（成長していく）ことができる社会資源の一つとしてしっかりとした言の葉の根をはっていきます。

### 言の葉の誓い Statement

#### 3. 「人と街を信じる」

私たちは、その人の力を信じ、その街の力を信じ、リハビリテーションの視点から新しい可能性を共に開きます。

# 言の葉きっず

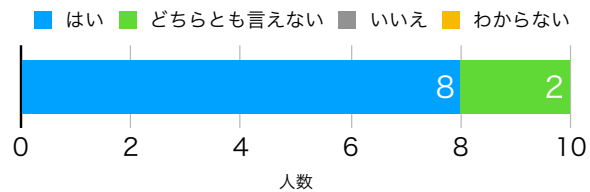


言の葉きっずは、放課後等デイサービスという事業であり、支援の質の向上を目的に、年に1回以上の「自己評価」と「保護者アンケート」を実施し、その結果を公表することが義務づけられています。きっずでは、2月に評価とアンケートを実施しました。ご協力いただいた保護者の皆さまありがとうございます。ホームページに詳細な結果をアップしていますのでお時間のある際にご覧ください。今回は、保護者アンケート結果をお伝えします。

## 環境・体制整備

### 【質問①】

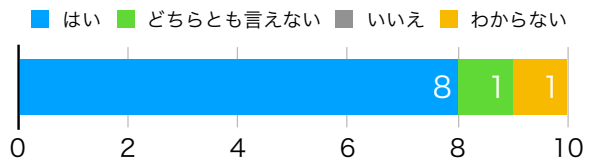
こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか？



ご意見：こどもも楽しく通っていて、とてものびのび活動しています。

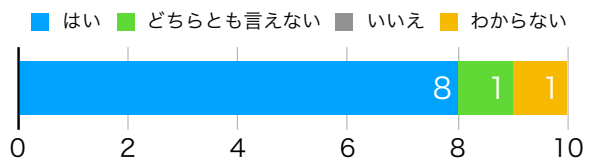
### 【質問②】

職員の配置数は適切であると思いますか？



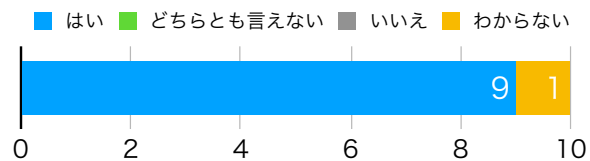
### 【質問③】

生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか？また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか？



### 【質問④】

生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか？また、こども達の活動に合わせた空間となっていますか？



## まとめと事業所コメント



事業所の環境・体制整備については、8割以上の方から「はい」の回答をいただきありがとうございます。また、ご意見もいただき嬉しい限りです。

しかし、「わからない」との回答もあり、開かれた事業所になるためにはまだまだ課題があることも事実です。言の家きっずをより知ってもらえるよう保護者さまがきっずに集まれる機会の企画や広報誌などでの情報発信により一層努めていきます。

また、施設内空間には制約もありますが、一人ひとりのこども達が過ごしやすい環境について引き続き検討し環境整備に努めてまいります。



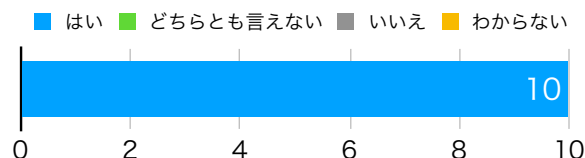
## 言の葉が目指す未来 Vision

「障害のある人もない人も皆が支え合い、豊かに暮らせる街を育む」

## 適切な支援の提供

### 【質問⑤】

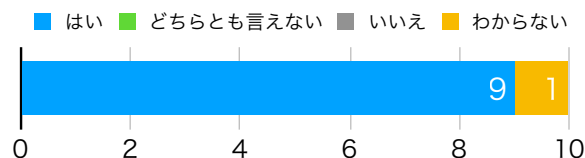
こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか？



ご意見：こどもにあった対応をしていただいています。

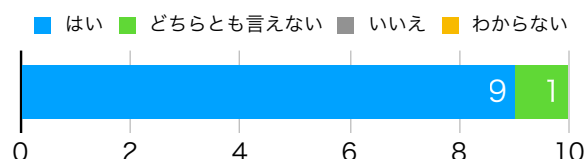
### 【質問⑥】

事業所が公表しているプログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか？



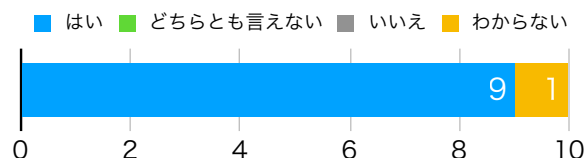
### 【質問⑦】

こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていると思いますか？



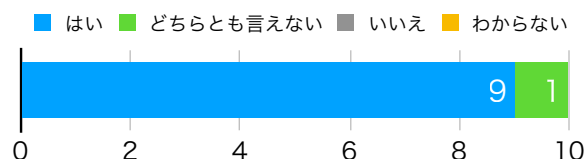
### 【質問⑧】

放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具達的な支援内容が設定されていると思いますか？



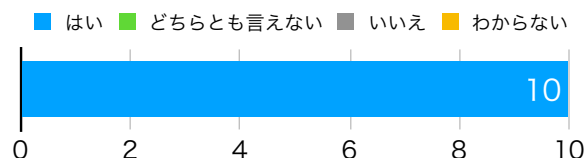
### 【質問⑨】

放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか？



### 【質問⑩】

事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか？



### 【質問⑪】

放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこども達と活動する機会がありますか？



## まとめと事業所コメント



⑤～⑩の質問に対しては、言の葉きずらしいサービスの提供が行えており、保護者の皆さまにも一定のご理解を得ていると考えます。質問⑪は、オープン初年度ということもあり、地域との交流が少なかったことは事実です。令和8年度の活動計画の重点項目の一つとさせていただきます。



## 言の葉が果たす役割 Mission

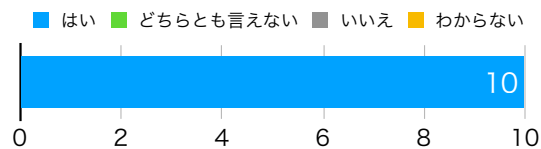
### 全世代の人生に寄り添うリハビリテーション

「こどもから高齢者まで全世代に、生活を創造する真のリハビリテーションサービスを提供し、その人の人生を共に歩みます」

## 保護者への説明等

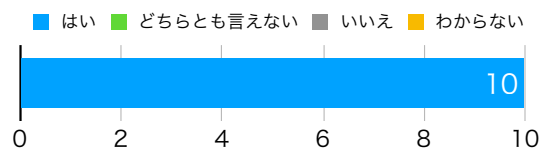
### 【質問⑫】

事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか？



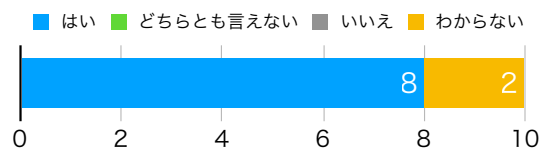
### 【質問⑬】

「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされていますか？



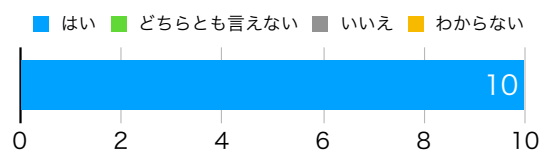
### 【質問⑭】

事業所では、家族に対して家族支援プログラムや家族なども参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか？



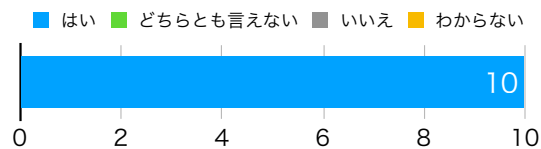
### 【質問⑮】

日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか？



### 【質問⑯】

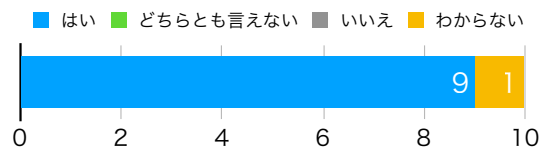
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか？



ご意見：いつも相談にのっていただいて、とてもよくみていただいています。

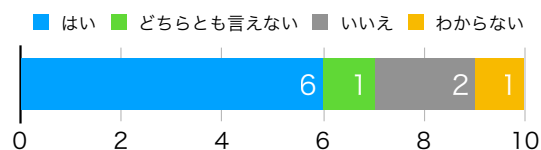
### 【質問⑰】

事業所の職員から共感的に支援されていると思いますか？



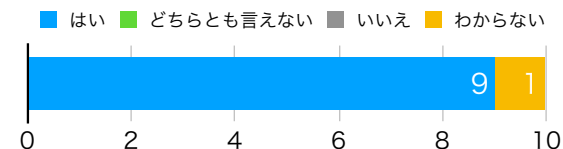
### 【質問⑱】

父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が提供されていますか？また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか？



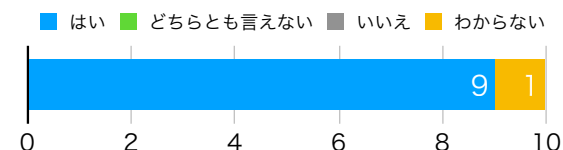
### 【質問⑲】

こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか？



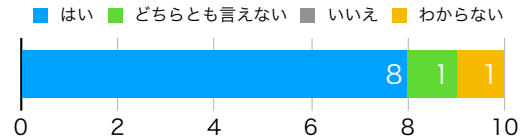
### 【質問⑳】

こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか？



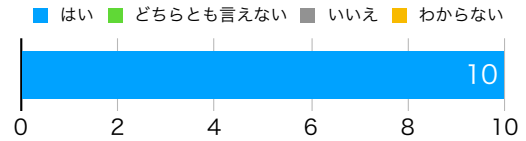
【質問⑳】

定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか？



【質問㉑】

個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか？



まとめと事業所コメント



保護者の皆さまへの説明や同意についても、多くの方のご理解いただけている結果となりました。しかし、「わからない」と回答をいただいている方もおり、保護者さまと言の葉きっずで一緒になって子ども達を支援していく仕組みや関係がまだ不足していることもあとと認識しています。

令和7年度は、12名の保護者様に個別の家族面談を合計74回実施させていただきました。また、集団の家族面談には6名の保護者様がご参加くださいました。さらに、学校等との関係機関連携も2回実施でき、「連携」については一定の役割を果たせたと考えています。

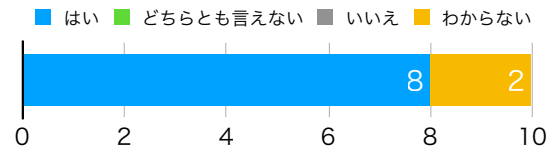
しかし、保護者会やきょうだいの交流・支援、研修会など開催は行えていません。令和8年度に向けては、職員体制なども鑑みながら少しずつ活動・連携の輪を広げていけるよう努めていきます。



非常時等の対応

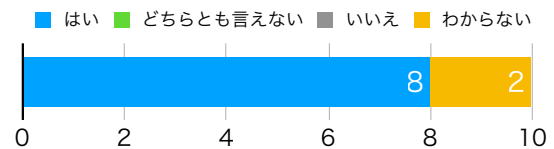
【質問㉒】

事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか？



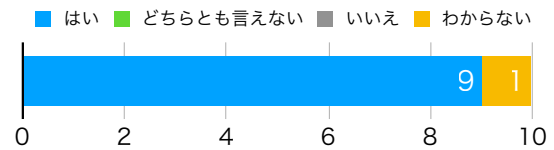
【質問㉓】

事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか？



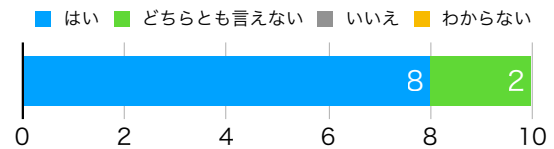
【質問㉔】

事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか？



【質問㉕】

事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか？



まとめと事業所コメント



毎週、危険予測活動（KY活動）を行い、事故発生予防、発生時の分析・対策を話し合う機会を設けています。また、避難訓練や災害時の事業所内の対策マニュアルなども準備しています。法人内には、災害支援ナースや災害研修を受け資格を持ったリハビリスタッフも所属しています。言の葉きっずの取り組みだけでなく、法人全体の取り組みを伝えられるようにしていきます。



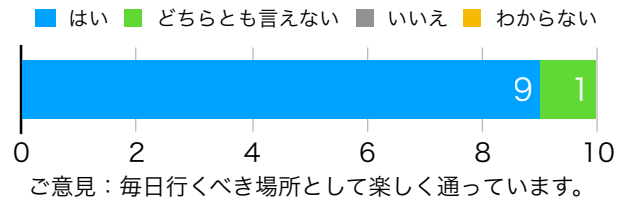
言の葉が大切にしている価値 Value

2. Professional 準備と努力を怠らない

## 満足度

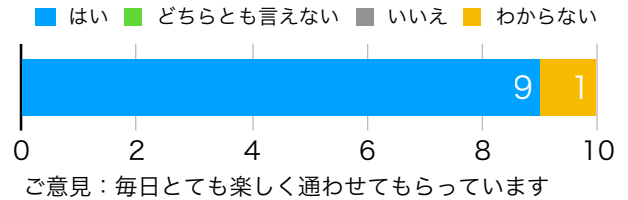
### 【質問⑳】

こどもは安心感をもって通所していますか？



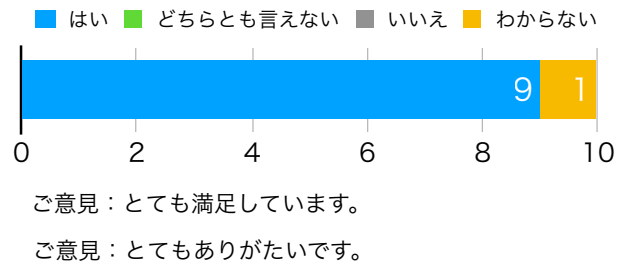
### 【質問㉑】

こどもは通所を楽しみにしていますか？



### 【質問㉒】

事業所の支援に満足していますか？



## まとめと事業所コメント



9割の保護者の方から「はい」との回答をいただきました。言の葉きっずでは、言の葉きっずの10ヶ条を定めています。今後も一人ひとりのらしさを大切にした支援を実施していきます。今回のアンケートから得られた結果を令和8年度に活かしていけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお祈いします。

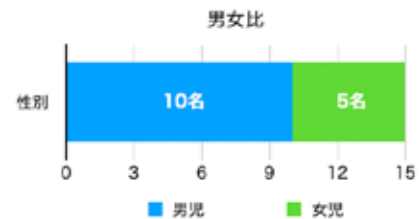


令和7年度は、15名のこども達がきっずに通ってくれました。支援の目標やこども・保護者さんの要望や必要性によって途中で利用回数を増やした子。

習い事や友達との遊びが増え、利用回数を減らした子。きっずの利用が卒業をなった子など、その子の目標によってさまざまなカタチがあります。

詳しくは、事業所報告会を開催しお伝えする場を設けたいと思っています。また、家族面談などの際にも直接お伝えしていきます。

令和8年度も保護者さんと一緒にその子らしさを広げていく支援が行えるようなことにチャレンジしていきます



言の葉が大切にしている価値 Value

3.One Team 一致団結して前進する

# 忍耐と我慢の違い

〜スマナサーラ長老の言葉より〜

初期仏教のアルボ・スマナサーラ長老がブツダの知恵で答えたものを紹介します。日々の生活にブツダの知恵を取り入れてみたらいかがでしょう。

「忍耐」と「我慢」の違いについて聞いてみた。「我慢」はストレスがいつぱいで、「忍耐」はストレス無しと。

冬は外に出たら寒いですね。当然です。我慢する人はぶつぶつ文句を言いながら外を歩きます。早く暖かいところに逃げたい、今の状況から離れたい、というストレスを抱えているのです。

それに対して、忍耐は「冬の風が冷たいのは当然だ」と現実を認めるだけです。だから何のストレスも無く冬の道歩くのです。我慢するとは、怒りの一種です。

ですから、我慢するとストレスが溜まります。忍耐にはストレスがあ

りません。冬の道を寒さを感じながら歩いて、我慢した人には寒さの苦に加えて精神的な悩みも起きますが、忍耐する人の場合は、冬の寒さに当たった苦だけで終わりますとのこと。

我慢しなさいと言う場合は、「今、我慢したら後で楽になる」という話。それはロバの鼻先にニンジンを下げることになる。仏教は、ご褒美というニンジンを見せるのではなく、「忍耐することは人格向上に欠かせない」と言う立場だ。

つまり、より良い人格を目指し、自分を磨き、苦勞にめげずに進むことが「忍耐」なのだ。「今苦しんで頑張れば（我慢すれば）後で楽になる」と言うのは、俗世間的な発想で、それはニンジンを手でつかせることであり、「忍耐」とは違うもの。

ご褒美を目指して我慢すると問題が起きる。我慢したのに望んでいた結果を得られないこともある。



望んでいた結果にたどり着いたとしても、大したことないと不満を感じることもある。仏教では、努力が望み通りの結果を出すか出さないかは大きな問題ではない。忍耐によって自分自身が成長すること、それが確かな結果なのだ。

歳をとるのは嫌だ、体が衰えるのは嫌だ、何とかならないかと思う人は我慢しなければならぬ。「我慢する」とは、自分の錯覚から起こる感情を正当化する働きであり、その結果は「苦」に他ならない。

仏教には因果法則がある。歳をとることは因果法則であって、それを気にしないことが忍耐なのだ。忍耐の方が楽かも。



森 淳一  
言語聴覚士

大分県の言語聴覚士の第一人者（第3代大分県言語聴覚士協会会長 H19～H23）。  
湯布院厚生年金病院リハ副部長、大分リハビリテーション病院リハ部長を歴任。現在も日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、大分オーラルリハビリテーション研究会代表等を務める。趣味は音楽、パソコン、映画鑑賞、お酒などなど。

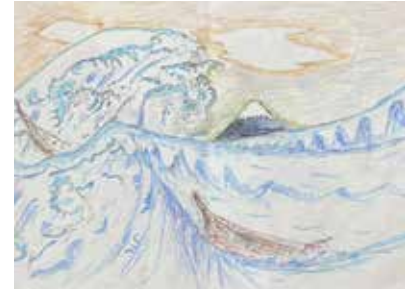
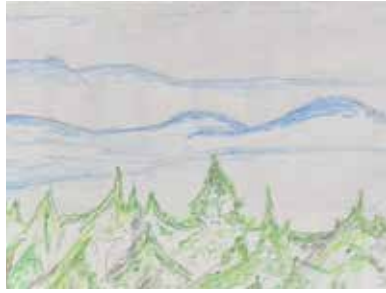
# 言の葉作品展

溪流  
竿

赤  
檜

馬  
産地

攪  
拌機



言の葉が大切にする価値 Value  
5.Challenge 挑戦の一步を踏み出す

## 米米月記（衛藤農家さんのお米づくり） .....



春です。田植えの準備も少しずつ進んでいるようです。円形分水から田んぼに水を通しています。



4月下旬には、種まきの作業があります。

言の葉からもお手伝いに伺う予定です。

右の写真はおたまじゃくしの卵の写真です。カエルは稲の害虫を駆除してくれるそうです。

おたまじゃくしは、田んぼの水を浄化してくれるそうです。

## 言の葉間違い探し .....



Thanks



←間違い5つ見つかりましたか！？正解は、こちらを確認してね！！